

今号の作業

リヤフェンダーを組み立てる



今号では、リヤフェンダーを提供する。シート下部になる部分は樹脂製、露出する部分はステンレス製のハイブリッド構造となっており、模型としての組み立てやすさと高いスケール感を両立させたものだ。また、今後提供されるテールライトの基部にもなるので、しっかりと組み立てておこう。

今号のパーツ



- ①リヤフェンダーA×1
- ②リヤフェンダーB×1
- ③ビス(Vタイプ)×4
(※1本は予備)
- ④ビス(Gタイプ)×2
(※1本は予備)
- ⑤ビス(Oタイプ)×2
(※1本は予備)
- ⑥コードホルダー×3

※④⑤⑥は、今回の作業では使用しないので大切に保管しておこう。

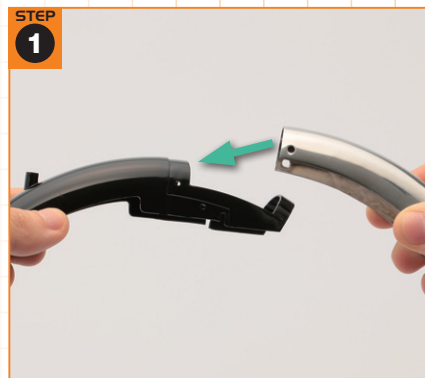
使用する道具

・+(プラス)ドライバー(1番)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

用意するもの

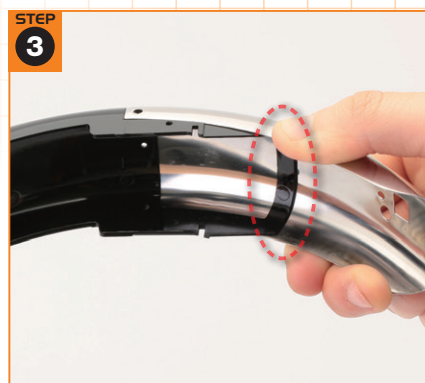
・ペーパータオル(毛羽立たないもの)
・ビニール袋(パーツが入っていた袋でも可)
・油性ペン



①リヤフェンダーAと②リヤフェンダーBを写真のように持ち、リヤフェンダーA後端の段差部分に、リヤフェンダーBの“ビス穴が設けられている側”を重ね合わせる。



リヤフェンダーAとBを重ね合わせた状態。写真のように重なり、一体化していることを確認しよう。



②の状態のまま、パーツ裏側を確認する。リヤフェンダーAの後端が、どの位置にあるかを覚えておく。



重ね合わせたリヤフェンダーBを取り外し、リヤフェンダーAと重なる部分の“裏側”をペーパータオルで拭く。この部分は組み立て後にクリーニングすることができないので、この段階で拭いておく。なお、パーツの端は鋭利な状態になっているので、手を切らないよう注意しよう。



リヤフェンダーAとBを再び重ね合わせ、リヤフェンダーBの前端・中央のビス穴へ③ビス(Vタイプ)をセットする。



1番の+(プラス)ドライバーを使い、Vタイプのビスをゆっくりとねじ込む。その際、決して力一杯にねじ込まないように。



Vタイプのビスをねじ込んだ状態。これ以上ねじ込むと、ビス穴の周囲がへこんでしまい、フェンダーが歪んだように見えてしまうので注意しよう。



続いて左側のビス穴にもVタイプのビスをセットし、1番のドライバーで真っすぐになねじ込む。



右側のビス穴にもVタイプのビスをねじ込む。ビス穴周囲が凹まない程度にねじ込んであれば、ステンレスの弾性が働くのでしっかりと固定される。



ペーパータオルを使い、リヤフェンダーBの表面を拭いておく。特に後方の穴周辺は、後の作業でテールライトを取り付けることになるので、今のうちに汚れを拭き取っておこう。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。リヤフェンダーAを実車と異なる樹脂製としたのは、メインフレームとの接合部など細かな部分を設ける必要があるためだ。その分、リヤフェンダーBのステンレス特有の質感が、より一層のリアリティを醸し出しているはずだ。既に組み立てたフロント周りと同じように見比べてみるのもいいだろう。なお、組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。



今回の作業で使用しなかったパーツは、号数を記入したビニール袋に入れ、紛失しないよう大切に保管しよう。